
ばあさんの影

プチメタボ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ばあさんの影

【Zコード】

N1514F

【作者名】

プチメタボ

【あらすじ】

世にも奇妙な物語的な内容です。主人公とばあさんの会話は一切ありませんが、絵として映像で捕らえると面白いかもしれません。

漆黒の夜の闇に包まれる。

行けども行けども光が見えない。

虫も鳥もその声を出さない。

普段なら見えるはずの月明かりさえも
雲に覆われて姿を現さない。雨が降り始めた。

最初は小雨だつたが、次第次第に大粒になつてくる。

気付いてみると私はずぶぬれになつたまま

小さな街灯の下に立つていた。

辺りには誰もいない。ここには一体どこだらう？

私は人気のないこの暗闇が耐えられなくなってきた。

益々雨足が強まつてくる。

シャツからは腕が透けて見える。

私は走つた。とにかく走つた。

街灯の光もかき消されるほどの大雨の中を。

とてつもなく長い距離を走つた気がする。

実際それはたかだか15分ほどだつたかもしれないが、
暗闇に追われていた私には1時間にも思えた。

やつと明かりが見えてきた。見覚えのある場所だ。

いつもの煙草屋に定食屋が並んでいる。

ふと空を見上げると雨が止んでいる。

雲の陰からわずかな光がこちらを見ている。

しかし今日はなぜだか人がいない。

どこを探しても私一人なのだ。

私はゆっくりと自宅へ向かつた。

だが、何かがおかしい。

いつもの道を歩いているだけなのに、体の感覚がない。
そしてやはり人影はない。

やがて自宅へ着いたが、周囲の家々は電気が灯っていない。
見渡す限り、光と呼べるものは街灯と月明かりのみだ。

玄関の鍵を外し、ドアを開けた。

私は電気をつけるためにスイッチに手をやつた。

しかしスイッチがない。手探りで探すがどこにもない。

急に背中に殺氣を感じた。嫌な予感がしながら私はゆっくり振り向いた。

杖を突いたよぼよぼのばあさんが目の前に立っていた。

どう見ても魔女にしか見えない。

私は声を掛けようとしたが今度は声が出ない。
ばあさんはおもむろに顔を上げて私の目を見てきた。

頭の中を記憶が駆け巡る。めまいがしてきた。

と同時に吐気がしてきた。お腹を押さえてゆっくり横たわろうとした時

私は初めて自分の体の異変に気が付いた。

足がない。私は驚きを隠せず倒れるようにしてその場につづくまつた。

今度は体が消えていく。首まで迫ってきた。

そしてついに目が見えなくなつた。

はつとして意識が戻つた。夢か。

朝の光がカーテンの隅から舞い込んで来る。

窓から外を見て私は目を見張つた。ばあさんだ。

私は目をこすつてもう一度彼女を見ようとした。

しかし黒い服も杖もどこにも見当たらない。

そこにはただいつも通りの景色が広がっているだけだつた。

私は玄関のスイッチを確かめに行つた。

何事もなくそれはそこにあつた。

戸を開けてばあさんが私の目を見てきた場所に立つてみたが、

何も問題がない。いつもと変わらない。

私は狐につままれた感覚を覚えながら玄関の戸を閉めた。

テーブルも椅子もキッチンも普段通りの様子で変わつたところはな
かつた。

私は考えることを辞めにして朝食をとり、いつも通り会社へ行つた。
定時になるといつもメンバーが何事もなかつたかのように仕事を
始めた。

夜になつた。自宅へ戻つた私は玄関の電気をつけようとしてスイッ
チに手をやつた。

やはりそれはそこにある。昨日の夢は何だつたのか？

そして今朝見たあばあさんはいつたい . . .

奇妙な正夢に底知れぬ不安をかかえたままその口は過ぎ去つていつ
た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1514f/>

ばあさんの影

2011年2月3日15時40分発行